

離職率は市町村保健師 5.4%、県保健師 5.4%  
定年退職以外の退職者は、市町村 8割、県 9割を占めていた

### 調査の概要

調査目的	県および市町村の保健師の離職状況や教育体制等を把握し、定着確保対策の資料とする。
調査対象	県および 54 市町村の統括保健師 55 人
調査時期	調査期間：令和4年6月16日～6月30日
調査方法	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収
回収状況	県 1 人、市町村 41 人の統括保健師計 42 人から回収 回収率 76.4%

### 調査結果のポイント

#### 1. 回答者の属性

○回答のあった 41 市町村を人口規模別に見ると 1 万人～5 万人未満が 36.6%と最も多く、次いで 5 万人～10 万人未満 22.0%、10 万人～15 万人未満 12.2%の順であった。

表 1 市町村の人口規模別回収数

人口規模	回収数	割合	人口規模	回収数	割合
1万人未満	5	12.2	30万人～35万人	0	0
1万人～5万人未満	15	36.6	35万人～40万人未満	0	0
5万人～10万人未満	9	22.0	40万人～45万人未満	1	2.4
10万人～15万人未満	5	12.2	45万人～50万人未満	1	2.4
15万人～20万人未満	2	4.9	50万人以上	2	4.9
20万人～25万人未満	0	0.0	不明（市町村名未記入）	0	0.0
25万人～30人未満	1	2.4	合計	41	100.0

#### 2. 令和3年4月1日現在、令和4年4月1日現在の保健師職員数

○令和3年4月1日現在の県職保健師数は 186 人、41 市町村の合計は 1,046 人で、令和4年4月1日現在の県職保健師数は 196 人、41 市町村の合計は 1,087 人であった。令和4年度は3年度に比べ、県は 10 人、市町村は 41 人の増員となっている。

○市町村保健師の令和3年度から4年度の増減は、増加が 18 市町村、減少が 6 市町村、増減なしが 17 市町村であった。減少している 6 市町村の減少人数は、1 人が 4 市町村、2 人・3 人がそれぞれ 1 市町村であった。

表 2 令和3年度、令和4年度の保健師数及び増減

年度	県職保健師数（人）	市町村保健師数（人）	合計（人）
令和3年度	186	1,046	1,232
令和4年度	196	1,087	1,283
増減	10	41	51

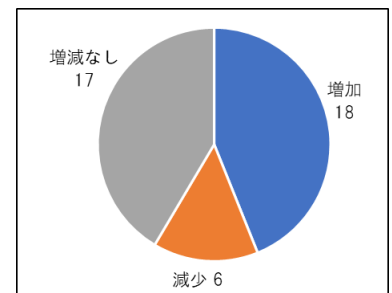


図 1 市町村保健師の増減状況

### 3. 保健師の離職率と退職理由

○令和3年度に新規採用者を除く退職者があつたのは26市町村（63.4%）56人、離職率は5.4%であった。退職者の内訳は、定年退職者が10人、定年退職以外が46人と定年退職以外の退職が82.1%を占めていた。

○県の退職者は10人、離職率は5.4%で市町村と同率であった。退職者の内訳は定年退職1人と定年退職以外9人であった。

表3 令和3年4月1日～令和4年3月31日までの退職者の状況

	あり	割合 (%)	なし	割合 (%)	退職人数 (人)	離職率 (%)
市町村	26	63.4%	15	36.6%	56	5.4
県	1	100.0%	—	—	10	5.4

○定年退職以外の退職者の退職理由で最も多かったのは「健康上の理由」、次に「転職・進学」、「メンタルヘルス不調」の順であった。

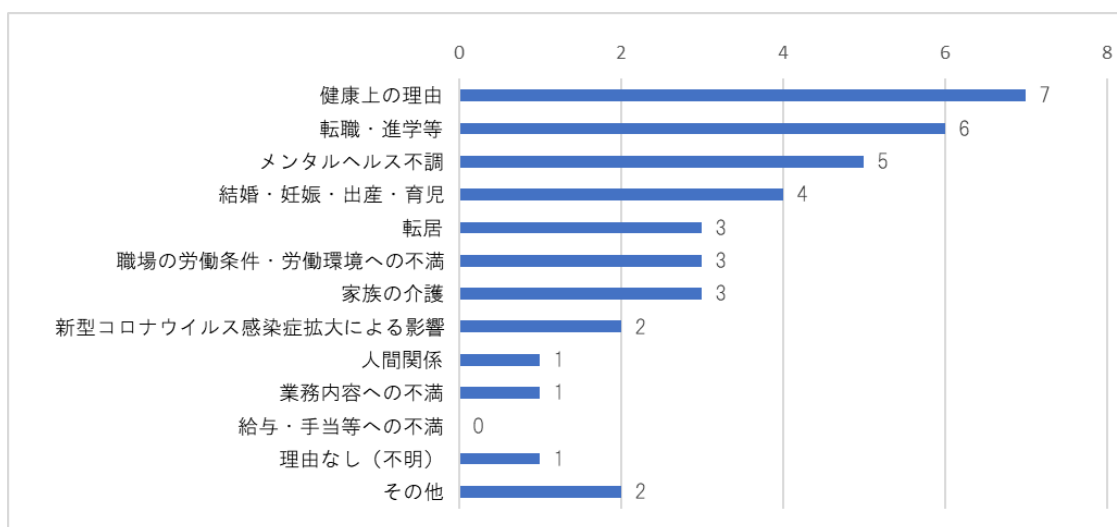


図2 定年退職以外の退職者の退職理由（複数回答）：人 県および市町村

### 4. 保健師の現任教育体制

○教育責任者は、「配置されている」24市町村（58.5%）、「配置されていない」17市町村（41.5%）で、県は配置されている。

○教育研修担当者は、「配置されている」33市町村（80.5%）、「配置されていない」8市町村（19.5%）で、県は配置されている。

○教育研修体制について実施しているもの（複数回答）は、「外部研修の活用」36（85.7%）、次いで「内部研修の実施」26（61.9%）であった。自治体独自の「個別の研修プログラムの作成」や「キャリアラダーに沿った研修計画の立案」はほとんど行われていない。

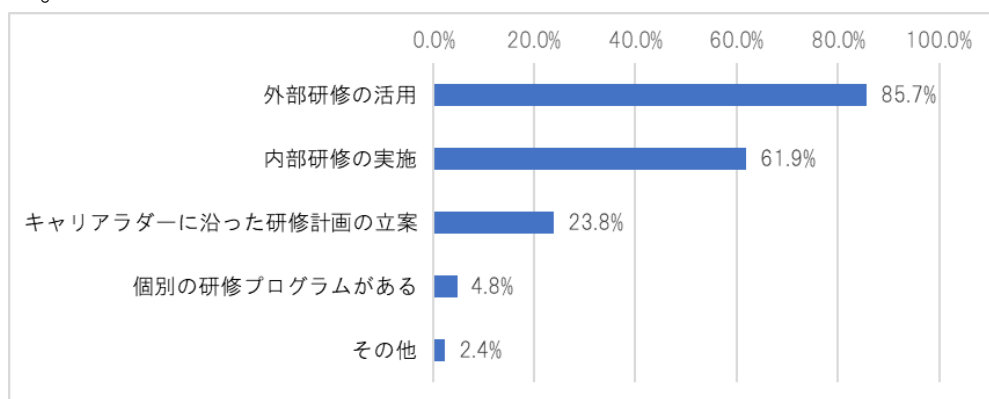


図3 教育研修体制について実施しているもの（複数回答）県および市町村

○看護協会が実施する生涯教育研修への要望は、市町村 23 (56.1%) および県からあり、その内容は「オンライン研修を増やしてほしい」19 (79.2%) 「保健師を対象としたキャリアラダーに沿った研修を増やしてほしい」11 (45.8%) であった。

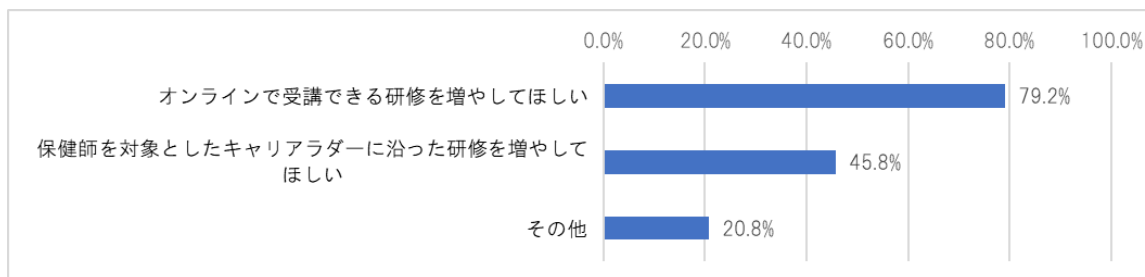


図4 看護協会が実施する生涯教育研修への要望（複数回答）県および市町村

## 5. メンタルヘルス相談体制

○メンタルヘルスに対する相談窓口の設置状況は、32 市町村 (78.0%) と県で設置されている。

表4 メンタルヘルスに対する相談窓口の設置状況

	設置している	割合 (%)	設置していない	割合 (%)
市町村	32	78.0%	9	22.0%
県	1	100.0%	—	—

## 6. 保健師の定着・確保に関する課題

○保健師の定着に関する課題と思われる項目（複数回答）については、「計画的な人材育成」が 30 (71.4%) と最も多く、次いで「育児・介護しやすい支援体制」20 (47.6%) であった。

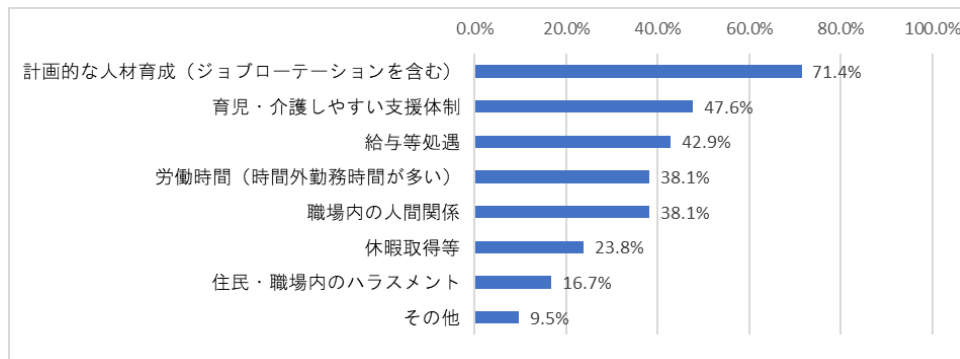


図5 保健師の定着に関する課題（複数回答）県および市町村

○保健師の確保に関する課題と思われる項目（複数回答）については、「計画的に採用できない」が 32 (76.2%) と最も多く、「募集しても応募がない」22 (52.4%) であった。

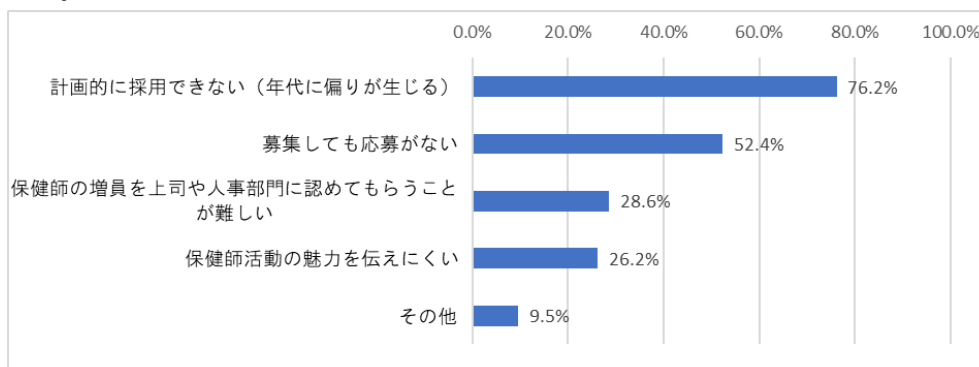


図6 保健師の確保に関する課題（複数回答）県および市町村